

市民経済委員会 議会報告会報告書

報告日：令和5年12月7日

出席者	参加者	32人	
	議会側	【市民経済委員会】 片山委員長、重森委員、谷委員、原田委員、鍋島委員、小池委員 【委員外議員】 岩崎副議長、上岡議員、大下議員、北林議員	
開催日時		令和5年11月6日(月)15:00～16:30	
開催場所		黒瀬保健福祉センター 多目的室	
実施内容報告	議会報告	テーマ	わたしの町の今とこれから ～地域別計画～
		概要	<p>最初に「そもそも市議会とは何か」を、以下の項目を含めて説明を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本会議とは ・4つの常任委員会 ・常任委員会とは <p>続いて、令和2年3月に策定された「第五次東広島市総合計画」の地域別計画アクションプログラムより、黒瀬地域の地域別計画、アクションプログラムについて説明の後、地域別計画について執行部に対しての定例会・委員会でのやりとりを紹介した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黒瀬地域の今と将来像 ・アクションプラン→安全で円滑な生活交通の充実 <ul style="list-style-type: none"> →市と大学が一体となったまちづくり →健康寿命の延伸による生涯現役社会の実現 →災害に強い地域づくり <p>最後に委員会の所管事務調査として「移住・定住支援を含めた地域活性化・集落支援について」をテーマとして、現在調査・研究に取り組んでいることも紹介した。</p>
	意見交換	テーマ “こんな町になったらいいな”を教えてください I. 少子化について 【相手方意見】 1. 小学校の児童が減っている。女性の就業支援や職場での高齢者の活用、多様性の増進、外国人労働者の活用などをもっと進めてほしい。 【議会側意見】 1. 重要な指摘と認識している。黒瀬町だけでなく東広島市全体、特に北部三町の人口減少が著しい状態である。議会としても危機感は共有している。特に若い方に住んでいただく必要があり、例えば教育の充実やコミュニティスクールの運営など行っていくことも一つの解決策である。委員会として移住・定住について所管事務調査を行い市民の声を聞き検討していく。	

Ⅱ. 産業振興について

【相手方意見】

1. 家を建てたり、団地開発をする場合、規制が厳しいのではないか。工業団地はあるものの若い世代が黒瀬に住まず、勤めに来ている状況。非常に勿体無い。
2. 東広島呉道路のICから1キロ範囲は開発が可能になっている。旧東広島市ばかりでなく広く工場用地を検討すべき。

【議会側意見】

1. 2. 担当と共有し対策を考え、県や国とも連携していきたい。土地が安く手に入れば子育て世代も呼び込めると思うが、50戸連たんの制度が変わろうとしているので、それによって地価が上昇するか、資材高騰もある。建築費用が上がっていくなら規制を緩和して安く家を持てるようなやり方をしていくような議論も委員会の中でしていきたいと思っている。

Ⅲ 移住支援について

【相手方意見】

1. 空き家が多くなってきている。在宅で仕事をしている人もいるので、市独自で地域に合った支援制度ができないか。
2. 移住・定住の「移住」は「転入」という言葉に言い換えるべきだ。
3. ドーナツ化現象が進んでいくと思うが、もっと若い人が住みたいと思える街にしないといけない。

【議会側意見】

1. 空き家を資源として有効活用することを目指す制度や、空き家に関する補助金も用意されているが十分ではないと認識している。定着支援も含め検討していく。
3. Town&Gown構想では、学生と地域でコミュニケーションをとりながらまちづくりを進めることも行われている。

Ⅳ 交通の利便性について

【相手方意見】

1. 西条・呉・福山・広島へ移動するためにもっと交通の利便性を高める必要がある。交通の便が悪いことは就労にも影響するだろう。朝の時間帯にバスを走らせてくれるだけでも大きく違ってくる。
2. 交通結節点ができるようだが、通学生の学校選択により利用率が左右される。西条方面、呉方面行きのバスの運行情報を保護者にしっかり情報提供してほしい。
3. 免許返納対策で、団地内を走る交通網を整備してほしい。

【議会側意見】

1. 担当と課題を共有し対応策を考え、県や国とも連携していきたい。

意見交換

<p>V 農業について</p> <p>【相手方意見】</p> <p>1. 現在農業をしている人は利益のためというよりもむしろ農業を守っていかなければいけないという使命感で続けている。耕作放棄地の増加と、担い手が少ないことも課題である。有害鳥獣対策も大変である。対応をお願いする。</p> <p>2. 第1次産業をどうするのか？市民経済委員会で考えてほしい。また、県の特別栽培農産物認証制度に対して、県や市は前向きな姿勢が見えない。委員会の委員も現場に足を運んで見てほしい。</p> <p>3. 農業の振興。農業機械が壊れたことを契機に離農する農家が増えている。対策が必要だ。</p> <hr/> <p>【議会側意見】</p> <p>1. 黒瀬町だけでなく、東広島市全体の問題である。有害鳥獣対策支援を市でも行っているが十分ではないと認識している。以前、獣害対策専門家から、一番の対策は餌となるものを除去すること、そして山の整備だと聞いた。できることから取り組んでいきたい。</p>
<p>VI 地域センターについて</p> <p>【相手方意見】</p> <p>1. 自治協の地域担当職員は時間にゆとりがなく、また担当になっても1年では地域のことを理解できない。また、黒瀬には地域センターがない。市の職員が定年後、携わる体制をつくってほしい。</p> <hr/> <p>【議会側意見】</p> <p>1. 議会では直営に戻してほしいという声がある。課題であると認識している。</p>
<p>VII 防災について</p> <p>【相手方意見】</p> <p>1. 5年前の豪雨災害の時に、川向こうにいかないと備蓄品が受け取れなかった。中継場所を設定してほしい。</p> <p>2. 西日本豪雨災害により、経営している工場が山からの水により浸水したが、この度、工事に着手してもらったので、安心できた。</p> <p>3. 災害復旧の工事費用はどこから出たのか？</p> <p>4. 国際大学の近くに植樹をしたそうだが、費用はどこから出たのか？</p> <p>5. 避難所の場所が浸水地域にあたり、誰も避難してこない。見直しが必要ではないかと思う。</p> <hr/> <p>【議会側意見】</p> <p>3. 国や県が中心となり復旧を行った。</p>

実施内容報告 意見交換	<p>VII 高齢者支援について</p> <p>【相手方意見】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. フレイル予防には外に出ることが大切。気軽に参加できるイベントを開催してほしい。 2. またフレイル予防といっても公共の低料金で利用できるプールや運動施設もない。市民が運動したいと思える施設を備えるべき。 <hr style="border-top: 1px dotted black;"/> <p>【議会側意見】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.2. 外出できる支援を求めていく。
	<p>VIII その他</p> <p>【相手方意見】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 第五次東広島市総合計画を実施するにあたり、財政は大丈夫か？働く場所づくりや企業誘致は必要だと思う。 2. 菅田川と川角川が黒瀬川に合流する地点の河川改修をしてほしい。 3. 議会広報誌にはカタカナ言葉が多い。見やすくわかりやすくしてほしい。 4. 第五次総合計画で現在実施できたことがあるのか？途中経過を市民にしっかり説明してほしい。 5. 広島大学が来たのに、大学を生かして発展していない。北広島市のように球場ができたことで住民が増え、地価が上昇するところもあるが、本市においてはそのような状態になっていないことが残念。もう少し知恵を出して発展させてほしい。 6. 消防局のトップが、消防の生え抜きがトップでないことに疑問がある。消防局は300人を超える職員がいるが、もっと重要な位置付けにしてほしい。 7. つぎはぎでなく重点的に下水道整備を早く進めてほしい。 8. 野良猫が多く困っているが、市も県も引き取ってくれない。 <hr style="border-top: 1px dotted black;"/> <p>【議会側意見】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 財政力指数は県内1位。しかし、監査委員からも指摘がある。特別会計には大企業の下水使用料が大きく、市の指数の影響を受けるのではないかと指摘を受けている。 4. 今まで地域別計画というものがなかった。第五次総合計画で地域別に計画を作った。それぞれ地域に重点的に力を入れ計画を作り、予算を付けていこうという考え方なので、これから進めていく。総合計画の中では公共施設の長寿命化を進めている。 5. 東広島市はスマートシティという考え方をもって、現在政策を進めている。黒瀬の兼広と広島大学とを結び、黒瀬町における交通の中心とするため、道を整備するための用地買収を進めている。北部3町もそういった場所(交通結節点)を作る計画をしている。まずはバスなどの公共交通機関を利用する人を増やすために観光地としても地域の良さや魅力をPRして、みなさんのご意見を聞きながら組み立てていければと考えている。

<p>その他 特記事項 (感想・意見等)</p>	<p>参加者が30名を超え、地域に関心のある熱心な方が多いと感じた。多岐にわたるテーマのお声をお聞きしたが、道路網の整備が課題と感じる声が多かった。平時のみならず、特に有事の際にこのままでは迅速に人命救助、災害復旧を進めることができない可能性もある。また少子高齢化を深刻な問題として挙げられている方もおられた。そのために若い世代が住みやすいまちにする取り組みを進め、住宅の確保を行うために空き家の活用も進めていく必要があると感じた。</p> <p>委員会では所管事務調査で移住・定住に関して調査研究、提言を目指している。課題を整理し執行部とも共有し、状況の改善、解決に向けて国や県とも連携しできることから取り組んでいきたい。</p>
----------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

市民経済委員会 議会報告会報告書

報告日：令和5年12月7日

出席者	参加者	7人	
	議会側	【市民経済委員会】 片山委員長、上田副委員長、重森委員、谷委員 原田委員、鍋島委員、小池委員、 【委員外議員】 岩崎副議長、上岡議員、木村議員、下向議員、 向井議員、中曾議員、大下議員、宮川議員	
開催日時		令和5年11月10日(金) 15:00～16:30	
開催場所		安芸津生涯学習センター ホール	
実施内容報告	議会報告	テーマ わたしの町の今とこれから ～地域別計画～	概要 最初に「そもそも市議会とは何か」を、以下の項目を含めて説明を行った。 ・本会議とは ・4つの常任委員会 ・常任委員会とは 続いて、令和2年3月に策定された「第五次東広島市総合計画」の地域別計画アクションプログラムより、安芸津地域の地域別計画、アクションプログラムについて説明の後、地域別計画について執行部との定例会・委員会でのやりとりを紹介した。 ・安芸津地域の今と将来像 ・アクションプラン→農山漁村の魅力づくり →地域資源を活かした観光振興 →支え合いの地域づくり →災害に強い地域づくり 最後に委員会の所管事務調査として「移住・定住支援を含めた地域活性化・集落支援について」をテーマとして、現在調査・研究に取り組んでいることも紹介した。
	意見交換	テーマ “こんな町になったらいいな”を教えてください	I. 報告会の内容について 【相手方意見】 1. 参加人数が少ない。開催について知らなかった人も多かった。このことについてしっかり考えてほしい。 2. これまでの取り組みとアクションプログラムの進捗も説明してほしい。 3. スローガンが大きすぎて、市民が直面してる個々の問題が見えていないように感じる。またプランの進捗が見える形で教えてもらいたい。PDCAが見えにくい。 4. 人口が最新のものではない。安芸津町は市にとってその程度の位置付けかと感じてしまう。 5. 横文字が多くてわかりにくい。 <hr/> 【議会側意見】 1. 広報が十分でなかったことを認識している。週末に予定している大きなイベントの前日を設定したことについて、申し訳なかった。これまでも多くの方が参加されていたので、今年も参加していただけるという甘えがあったと感じている。次年度はしっかり広報をしていきたい。 4. 人口が最新のものでない点は大変申し訳なかった。最新の人口や今年生まれた子どもの数については認識をしていたが、説明が十分ではなかった。 5. カタカナを使うのであれば括弧書きにし、日本語で補足するなどわかりやすい説明をするようにしたい。

Ⅱ. 道路・護岸整備について

【相手方意見】

1. 三津～仁賀線が開通すれば空港へのアクセスが容易になる。
2. 国道185号の歩道の整備は進んでいない。通学に利用する学生のために早期に整備をしてほしい。
3. 高潮対策の進捗を教えてください。

【議会側意見】

1. 2. 国や県の事業である。小松原地域の歩道については、着工しようとした矢先に平成30年豪雨災害が起きた。三津地区を先行して実施し、その後に小松原地区に延ばしていくと聞いている。
3. 現時点で風早地域の工事をしている。そこが済み次第、小松原地域に移っていくと聞いている。

Ⅲ 有害鳥獣について

【相手方意見】

1. 対策が不十分ではないか？
2. 柵の補助は現時点である程度の数をまとめて申請することが求められているが、部分的な補修でも申請できないか？
3. 狩猟免許を取得したとしても、素人には捌くことができない。免許取得の補助は市が行っているが、取得した後のフォローがない。ジビエセンターが豊栄にあるが遠くて利用できない。三永にあれば安芸津の人も利用しやすい。

【議会側意見】

- 1.2.3. 有害鳥獣対策は、耕作放棄地の増加、後継者不足の問題に並んで、全国で大きな問題になっている。一方で、抜本的な対応策がない状態。柵などの購入に関する補助金をまとめて申請するのではなく、部分的な補修ができないか検討していきたい。
ジビエセンターについても検討していきたい。

Ⅳ 水道・公共施設(校舎)の耐震化について

【相手方意見】

1. 学校の耐震化を早急に実施するために、国に予算を要望して欲しい。アクションプログラムの中で水道施設の耐震化について説明があったが、早急に予算をつけて実行してもらいたい。災害は忘れた頃にやってくる。行政は先行投資がなかなかできていない。予算を確保するくらいの熱意が欲しい。

【議会側意見】

1. 学校の耐震化は全て終えている。水道の長寿命化については更新時期が来ているが、技術者不足などにより全ての工事を終えるのに100年以上かかると言われている。これまでも執行部に要望しているが、引き続き声を届けていく。

実施内容報告	意見交換	<p>V 空き家対策について</p> <p>【相手方意見】</p> <p>1. 耕作放棄地が増える理由は空き家が増えているためだと考えている。仏壇がそのまま残っている家もあり、遺産相続などもあるため、すぐには良くならないと思うが、空き家対策は補助金をしっかり整備し対策に力を入れて欲しい。</p> <hr/> <p>【議会側意見】</p> <p>1. 真摯に受け止めて対応を考えていく。</p>
		<p>VI 医療体制について</p> <p>【相手方意見】</p> <p>1. 県立病院はぜひ残してもらいたい。総合病院として認識している。医療サービスが整備されていないと、人口も増えていかない。</p> <p>2. 休日診療、時に小児科が不足しているのではないかと？休日に子どもが発熱して遠くの病院に行かなければならず、待ち時間も大変長い。</p> <hr/> <p>【議会側意見】</p> <p>1. 県議会で執行部が、県立病院は残すと言っていたため、安心していただきたい。</p> <p>2. 東広島市全体の問題であり、引き続き医師会にお願いしていく。医師不足も深刻であると認識している。</p>
		<p>VII 不登校の子どもへの対応について</p> <p>【相手方意見】</p> <p>1. フリースクールやオンラインの整備をしたからと言ってそれが解決策にはならない。もっと一人ひとりに寄り添ったサポートが必要である。</p> <hr/> <p>【議会側意見】</p> <p>1. 不登校の児童生徒は市内全域で増えており、早急に地域ごとに対策を行っていくのは難しい。多様な学びや色々な学びがあってもいい。オンラインで学習できる形も考えていかなければならない。議会で要望をしっかりとあげていきたい。</p>

実施内容報告	意見交換	<p>Ⅷ その他</p> <p>【相手方意見】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 同じ世代で集まっていると将来について暗い話になる。ぜひ夢のあることを語っていただきたい。 2. 若い人たちからは通信状態が悪いと言われている。通信網の整備が遅れているのではないか。 3. アパートの家賃が高く、市中心部と変わらないことも定住が増えない原因ではないか。 <hr/> <p>【議会側意見】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 安芸津は20～39歳の女性が少なく、子どもの数も少なくなることを意味している。取り組みの一つとして安芸津の町の価値をどう高めていくか？というエリアブランディングについての話合いや勉強会をJRにも加わってもらって進めている。各住民自治協議会が人材不足の中で、まち全体として連合を組み支所長がリーダーとなって計画を作り、賑わいに尽力している。 2. 特徴ある産業が安芸津にはある。一方で居住に結びついてない。6次産業化に結びつけられてない現状がある。観光を目玉にしていきたい。正福寺山公園については、市の公園として整備を進めていくということも検討されている。
	<p>その他 特記事項 (感想・意見等)</p>	<p>参加者が10名を下回り少ない状況であり、ご意見にもいただいたように事前広報が弱かったことを反省している。 ただその分、一人ひとりのご意見を伺い、十分ではないにしても現状や考えを伝えることができたと考えている。 そして地域に詳しい安芸津の議員3名がグループに参加したことにより、新鮮で詳細な情報を伝えることができたと考える。</p>